

# Acanthus

金沢大学広報誌 | アカンス

入学宣誓式 P.2 / 【特集】豊かな人間性を育む金沢大学の共通教育 P.4 / 卒業生インタビュー P.13 / 【連載】金沢大学の地域連携レポート ① P.14 / 金沢大学創基150年 P.16 / 金沢大学学友会・金沢大学基金 P.18 / サークル紹介 P.19 / ニュース & トピックス P.20 / DATA NOTE P.22 / イベントカレンダー P.23 / ぶらりキャンパスめぐり P.24

特集

## 豊かな人間性を育む 金沢大学の共通教育



No. 23

# 未来への扉 入学宣誓式

# 夢

日本と海外の国々を  
結びつけるような仕事に  
就くのが夢ですね。

川部 葉奈さん  
経済学類 [山形県出身]



さまざまな地域出身の友達を作り、  
いろいろな場所に行きたいです。

百瀬 幸さん  
薬学類・創薬科学類  
[長野県出身]

たくさんの人と出会い、  
柔軟に自らを高めて  
いきたいです。  
河合 法子さん  
法学類 [福井県出身]

高校の数学教師をめざして  
います。サークル活動にも打ち  
込みたいです。

小林 翔太さん  
数物科学類  
[新潟県出身]



金沢の街でレベルの高い医療  
を学び、看護師になりたいです。

小林 祐太さん  
保健学類  
[新潟県出身]

数学や物理・化学、できれば  
薬学関係のことも学びたいと  
思っています。

水野 貴之さん  
物質化学類  
[愛知県出身]



入学してから学びたい分野を  
じっくり決められるので、  
金沢大学を選びました。

大口 瑛輔さん  
自然システム学類  
[新潟県出身]

航空宇宙工学など、  
幼いころからの興味を  
掘り下げたいです。

河合 研人さん  
機械工学類  
[岐阜県出身]

話題になっている地球  
環境やエネルギー問題  
を研究したいです。  
奥田 高将さん  
自然システム学類  
[岐阜県出身]



真剣なまなざしで式に臨む新入生

## 新入生の声

チーム医療に憧れています。  
優秀な臨床検査技師に  
なりたいです。

城戸 恵梨子さん  
保健学類  
[石川県出身]



経済や金融の視点から、  
社会のしくみを広く学び  
たいです。

山中 麻理さん  
経済学類 [石川県出身]

実践力や豊富な知識を  
身につけ、地域の福祉を  
充実させるのが目標です。

大門 千夏さん  
地域創造学類  
[石川県出身]



地域づくりに関わることを  
学び、将来はまちづくりに  
貢献したいです。

表紙口 佳織さん  
地域創造学類  
[石川県出身]



宣誓文を読み上げる高島さん

平成24年度 入学者数	
●学域・学類(編入生含)	1,874名
●大学院	815名
●別科	41名
	計 2,730名

金沢大学では4月7日、学域・学類、大学院、別科  
合わせて約2700名の新入生を迎え、平成24年度  
入学宣誓式を挙行了しました。この時季には珍しく  
小雪が舞う天候でしたが、閉式のころには、彼らの  
夢や希望を表すようなさわやかな青空が広がりました。

いしかわ総合スポーツセンター  
で行われた式では、中村信一学長  
が「継承された知識を基礎として新  
たな知を創造されることを期待しま  
す」と新入生を激励しました。また、  
2012年は金沢大学の源流である  
加賀藩彦三種痘所の開設から150  
年の節目に当たることから「創基  
150年入学生として学ぶことを誇  
りとし、充実した大学生活を謳歌し  
「強い金沢大学生」として育ってい  
かれることを祈念します」と述べま  
した。  
続いて、学域を代表して医薬保健  
学域の高島悠太郎さん、大学院を代  
表して教育学研究科の田邊圭子さん  
が入学の決意を宣誓し、新入生らは  
大学生活への想いを新たにしていま  
した。会場には校歌や金沢大学フイ  
ルハーモニーマジック管弦楽団による祝典演  
奏が厳粛かつ華やかに鳴り響き、閉  
式後は、お祝いに駆けつけた先輩た  
ちが早速サークルの勧誘を行う光景  
も見られました。



祝典演奏が新入生を歓迎



先輩によるサークル勧誘



記念撮影をする新入生ら



新入生に向けて告辞を述べる中村信一学長

# 豊かな人間性を育む 金沢大学の共通教育

入学した学生が最初に学ぶ共通教育科目(教養科目)。専門を深めるために、社会へ羽ばたくために、学問の基礎はもちろん、多文化共生時代に求められる人間性豊かな人材を養成します。



## CONTENTS

- P6 広く深く、教養を身につける「共通教育」／共通教育早わかり
- P8 共通教育特設プログラム
  - 英語力を伸ばし他者に触れる
  - 環境を題材に考える力を育てる
- 導入科目
  - 大学生活の円滑な滑り出しをサポート
- P10 私は、こんなふうに勉強しています
- P12 金大生のノートウォッチング！

地域社会に、そして世界につながる金沢大学というフィールドで、積極的に学ぶことを期待しています。

### やる気に応える仕組み

受験生や在學生には、大学でこれに学ぼうというやる気を持ってもらいたいと思います。勉学にせよ、留学やボランティアなどの活動にせよ、学生のチャレンジ精神に応える準備が金沢大学にはあります。学生の優れた研究に資金を援助する制度、海外留学を支援する「留学生交流支援制度」、ボランティアを支援する「ボランティアさばりとステーション」などです。

一方、学問とは人類共通のものであり、出身地域を問わず学生を教育することが大学の責務です。金沢大学には1万人以上の学生と500人を超える留学生がいます。それぞれが背負う文化の違いを金沢にいながら感じることで、多様な価値観への理解を深めてください。

ただ、幅広い知識や技術と一口に言っても、そのすべてを大学で提供することは難しく、求められるものも変化していきます。共通教育に設けた「特設プログラム」は今の金沢大学なりの一つの答えです。

高い建物を建てるためにはしっかりと土台が必要です。研究の土台に当たるのが教養知識で、金沢大学では導入教育やキャリア教育の要素も含めて「共通教育」としています。

1、2年生での履修が多いのですが、必ずしも教養は専門のベースとなるだけではありません。専門や社会に進んでからも、専門、専門外を問わず幅広い知識や技術を身につければ、それが新たな突破口を開くはず。

### 教養が選択の幅を広げる

社会のニーズが刻々と変わる中で、柔軟かつ機敏に対応できるようにすることは大きな進歩だと言えます。

自由度の高い教育・研究体制

金沢大学の学士課程は3学域・16学類です。文系、理系、医系がそれぞれ一つの学部になっていると考えれば分かりやすいでしょう。以前の8学部・25学科よりも枠組みが広がることで、教育・研究の自由度が高まりました。

### 自由度の高い教育・研究体制



金沢大学理事(教育担当)  
中村 慎一  
NAKAMURA Shin-ichi

## 共通教育特設プログラム

共通教育科目の「履修おすすめバック」です。指定された科目群の中から選択し、履修することで、系統だった深い知識が得られます。修了要件を満たすと「修了認定証」が交付されます。申請前に修得した単位を算入することも可能です。

### ●2012年度に履修できるプログラム

修了に必要な単位数

#### 環境・ESD\*リテラシー 9単位以上

持続可能な社会をどう構築するか、体系的な知識を修得し、問題解決に向けた実践的能力を養成します。

\*「持続可能な開発のための教育」

→詳しくはP8

#### 英語ステップアップ 10単位以上

自分の専門分野や関心のある領域であれば、やや難しい内容であっても、英語でやり取りできる能力を養成します。

→詳しくはP8

#### 英語国際コミュニケーション 20単位以上

自分の専門以外の分野であっても積極的に自分の意見を述べたり、文章を書いたりする能力を養成します。

→詳しくはP8

#### 歴史学 10単位以上

歴史を現在・未来に活かすための知識や方法を身につけ、人間や社会に対する洞察力を養成します。日本史、東洋史、西洋史のみならず、考古学、美術史から科学技術史、スポーツ史にいたるまで、幅広いメニューを用意しています。

#### 健康・自己管理 10単位以上

青年期の心身の成長と自己管理に役立つ科目を集めています。講義だけでなく、グループ学習や体験学習をとおして能動性・自主性を促し、他者との円滑な人間関係を築くコミュニケーション能力を養成します。



#### キャリアデベロップメント 10単位以上

生涯にわたって担う社会的役割(キャリア)について深く考え、現代の社会人として活躍するために必要な基礎力を養成します。学外での課題提案、解決型の就業体験など、教室を飛び出す授業もあります。

# 広く深く、教養を身につける 「共通教育」



共通教育機構長

笠井 純一 教授  
KASAI Junichi

金沢大学では、教養教育を「共通教育」と呼び、「全学共通科目」や「共通教育特設プログラム」を開設するなど、よりよい仕組みづくりを続けています。

### 学生の知的好奇心を刺激

金沢大学は2006年に教養教育のカリキュラムを刷新し、「共通教育」を開始しました。そのうちすべての学生が履修するのが「全学共通科目」です。大学生活のスタートを支援する「導入科目」(「大学・社会生活論」「初学者ゼミ」)、情報社会に対応するための「情報処理基礎」がそれに当たります。

共通教育では、専門教育との兼ね合いから、必要な単位数や科目の種類が所属する学類ごとに異なります。もちろん、どの学類でも自由に科目を選択する範囲が設定されています。前後期合わせて1000以上の科目が開講されているため、大いに知的好奇心が刺激されることでしょう。

### 「特設プログラム」の特徴

しかし、特定の分野ばかりを選んだり、苦手な科目を避けたりする学生もいるかもしれません。目的意識を持たずに履修し、専門に進んでから「教養で何を学んだか分からない」ということになっては、せっかくの知識が生かされないばかりか、しっかり身につくこともないでしょう。そこで、2011年度に開設したのが「共通教育特設プログラム」です。共通教育科目の授業を組み合わせた6つのプログラムからなります。

そのいずれかを履修することで、自分の立ち位置を見きわめ、社会に責任を持って生きるための知恵と指針を得られるよう組み立てられています。他の大学に先がけた、金沢大学の特徴とも言える取り組みの一つです。

### 多様な学びのかたちを提供

これには学びの幅を広げるねらいもあります。例えば、理系の学生が特設プログラムの「環境・ESDリテラシー」を取り、学類でも環境を専攻し、大学院でさらに積み上げれば、環境に関して「3階建て」で学ぶことができます。また、文系の学生が「環境・ESDリテラシー」を、理系の学生が「歴史学」といったように、自らの専門とは異なる分野を履修して、多様な知識に触れるのもいいでしょう。本来の専攻に加えて二つ目の専攻とする「副専攻」に似ていますが、こちらは共通教育科目だけで構成されている分、取り組みやすいのが特徴です。

特設プログラムの修了者には認定証が与えられます。学生が教養として特に力を入れて取り組んだ学習の成果を自ら確認することはもちろん、就職活動でのアピールに使うこともできます。教養であっても広く浅くで終わってしまうのではなく、広く深く、さらに一歩踏み込んだ多様な学びを提供したいと考えています。

### 導入科目「大学・社会生活論」



大学生活と社会生活に関する幅広い知識を学びます。オムニバス形式の講義です。

check!

2012年が金沢大学の源流にあたる加賀藩彦三様邸の開設から150年目に当たることから、今年度は中村信一学長による特別授業「金沢大学—伝統と創造—」が設けられています。

→詳しくはP9

### 情報処理基礎

PCの基礎知識や情報リテラシーを理解します。各自の理解に合わせて進められる部分もあります。

check!

金沢大学では、すべての学生がノートパソコンを持ちます(貸与あり)。キャンパスのほぼ全域でネットワークアクセスが可能なLAN環境を整備しています。



### 導入科目「初学者ゼミ」

大学生としての学習法を身につけます。少人数のクラスに分かれ、ディスカッションやプレゼンテーションなどを行います。

### 初習言語

多文化共生社会で求められる語学力を養います。ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、朝鮮語、ギリシア語、ラテン語、スペイン語、日本語(外国人留学生対象)があります。

### ティーチングアシスタント(TA)

1年生必修の「大学・社会生活論」や「情報処理基礎」などで、大学院生が学域生を手助けします。困ったことがあれば先輩に気軽に声をかけましょう。

番外編

### いしかわシティカレッジ

金沢大学を含めた県内の高等教育機関20校が連携・協力して多彩な授業を展開しています。ここで修得した単位は、一定の条件下で卒業のための単位に算入することができます。



自己アピールにも使えるよ。

特設プログラムも取ってみたいくなるね。

1,000以上科目が開講されるってすごくない?

# 英語力を伸ばし 他者に触れる

生きた英語を学び続ける環境と、多彩な個性に出会う機会を提供しています。

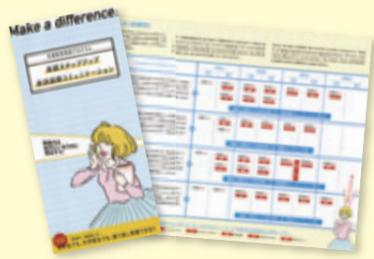


外国語教育研究センター  
榎本 剛士 准教授  
ENOMOTO Takeshi

## 継続的・体系的に 英語を学ぶ

「大学生になってから、英語力が落ちた」という学生の嘆きをよく聞きます。そこで在学期間中の体系的な履習を通じ、卒業時の英語力を最高にと考えられたのが、共通教育特設プログラムの「英語ステップアップ」「英語国際コミュニケーション」です。

重要なのは、社会の中でお互いの考えを英語で適切に表現し合えることです。学生には英語の論文や新聞記事、エッセーなどを通じて、話し手や書き手の「スタンス」に注意を向けてもらうよう心がけています。「英語ステップアップ」では関心のある分野ならやや難しい内容でも英語でやりとりできるレベル、「英語国際コミュニケーション」では専門



分野以外でも会話に積極的に加わって考えを述べられるレベルが目標です。CEFR\*で見ても、前者は上から3番目、後者は2番目となかなかハイレベルです。

## 多彩な個性に出会い 視野が広がる

特に「英語II」「英語III」は20人以下のクラスなので、きめ細かく対応できます。日本人教員の方が英語力が伸びることも多くあります。教員自身が英語の「壁」を実体験しているため、学生に合った具体的な指導ができるからでしょう。

いずれのプログラムも修了すると修了認定証が交付されます。自分の英語力を客観的に示す材料となるので、就職活動にも役立つでしょう。そして何より、考え方の異なるさまざまな国、年齢、専門分野の人たちとのディスカッションを経験することで視野が広がり、切磋琢磨しながら成長できます。

\*Common European Framework of Reference for Languages (CEFR) 共通言語参照枠「ヨーロッパ全体で外国語の学習者の言語能力を示す際に用いられるガイドライン」。

# 環境を題材に 考える力を育てる

環境に関する知識だけでなく、物事を論理的に分析する力やコミュニケーション力を養います。

## 世界的な課題を複眼的に見渡す

環境問題は今や世界的な課題です。本学も環境教育を積極的に推進しており、共通教育の関連科目を系統的に学べる特設プログラム「環境・ESD\*リテラシー」もその一つです。

## 問題発見・解決能力を 身につける

私が担当する「環境の現場で学ぶ」では、エネルギーと食糧、廃棄物処理をテーマとしています。事前学習として学生同士で仮説や問題を洗い出した後、電力会社や農政局など「現場の声」を聞く機会を設けています。

口頭発表も単なるまとめではなく、発見した課題や解決のアイデアまで盛り込むことで学習効果が高まります。根拠と結論を意識し、現状を論理的に分析・発展させるスキルは社会で求められる能力でもあります。環境問題は簡単に結論にたどり着けるものではないため、現状と課題をきちんと認識することが大切です。このプログラムで環境に関する知見を広げ、問題発見力・解決力に身につくことを期待しています。



大学教育開発・支援センター長  
西山 宣昭 教授  
NISHIYAMA Nobuaki

\*Education for Sustainable Development = 「持続可能な開発のための教育」。

# 大学生活の円滑な 滑り出しをサポート

1年次必修の「大学・社会生活論」。有意義な大学生活を送るための出発点と位置づけています。

## 大学生活を軌道に乗せる

大学での勉強は、内容も方法も高校までとは大きく異なるため、そのためのスタディ・スキルズ(大学学習法)を知る必要があります。学びを自分の将来にどうつなげていけばよいのかも考えなければなりません。

1年生必修の「大学・社会生活論」は、早く大学生活を軌道に乗せられるように設計された授業です。講義内容は、①大学での学びの基礎知識、②大学生活に必要な知識、③キャリア教育の初歩、④知っておきたい教養知識など、大学生活の基礎から将来設計まで多岐にわたっています。

## 意欲ある学生を応援する 仕組み

講師・ゲストスピーカーには各界の専門家らを招き、学外の人と交流する好機でもあります。スタディ・スキルズや学生生活ガイダンスを集約することで、自発的な学習能力の基礎を築く「初學者ゼミ」本来の役割を機能させるねらいもあります。

この講義が始まった当時、全国的に類を見ない取り組みでした。「生活のことまで教える必要はない」という批判もありましたが、近年は他大学でも追随する動きが見られます。

2008年にはeラーニングを利用した授業も開始し、講義とeラーニングを効率よく融合させた「ブレンドッド・ラーニング」の形態を取ったことで、学生からの評価が高まりました。11年前期のアンケートでは、全学類で高評価を得、特に国際学類では9割以上プラス評価でした。

共通教育機構副機構長  
古畑 徹 教授  
FURUHATA Toru

講義内容の一例	
①大学での学びの基礎知識	「大学における学習方法」 「大学図書館の利用法」
②大学生活に必要な知識	「消費者被害に遭わないために」 「大人の交通マナー」 「健康論」
③キャリア教育の初歩	「就職・進学論」 「留学と国際交流」 「ボランティアと地域貢献」
④最低限知っておきたい現代教養	「環境論」 「人権論」 「企業倫理」



成長するには、自ら吸収しようとする意欲が何より不可欠です。しかし、学生本人に意欲がなければ意味がありません。まずは「自分が何を学びたいか」をしっかり追い求めることが大切です。

## 金沢大学の学びのここがスゴイ！

入学から卒業まで 幅広い教養を身につけ、専門を深く主体的に学ぶ環境が、学生一人ひとりの成長を無理なく促します。



## Q「経過選択制」ってどんな制度？

A 基礎を学びながら、じっくりと専門テーマを選んでいく仕組みです。

人間社会学域や理工学域では、主に2年目に、自分の志望や適性に合わせて専門領域(コース)を決めます。医薬保健学域の薬学類・創薬科学類では、学類の選択を3年後期に行います。  
※医学類と保健学類では、資格取得の関係で経過選択制を取り入れていません。



附属図書館も「環境学コレクション」を整備



自然科学大講義棟のアカデミックフロムナードも学びに適した場所

父が工学研究者なので、小さいころから工学に関心がありました。とはいえ工学系女子は少数派で、書店の専門書コーナーは男子ばかり。高校までは「金属が好き」「つなぎを着てみたい」と友達に言っても、聞き流されることが多かったけど、

父が工学研究者なので、小さいころから工学に関心がありました。とはいえ工学系女子は少数派で、書店の専門書コーナーは男子ばかり。高校までは「金属が好き」「つなぎを着てみたい」と友達に言っても、聞き流されることが多かったけど、

友達と一緒に勉強すると理解がより深まります。



理工学域電子情報学類3年  
今澤 優子さん  
IMAZAWA Yuko

すね。でも、大学には同じ関心を持つ人が集まっていて、仲間との交流は大学生生活の充実感を何倍にもしてくれます。

ただ、専門分野に閉じこもっていても考え方が偏る気がします。私は以前から心理学にも興味がありました。独学するには敷居が高く、手をつけられずにはいましたが、共通教育では専門以外の分野も積極的に学ぶことができます。

私は家より大学の方が集中できるタイプです。遅いときは夜9時ごろまで附属図書館で勉強します。友達と一緒に勉強することも多く、先生に質問に行く前には、必ず2〜3人で討論するようにしています。話し合うと一人では気づかなかったことを発見できることが多く、理解が足りない部分を明確にできるからです。一緒に勉強した方が密度の濃い時間を過ごすことができる気がします。

# 私は、こんなふうに勉強しています

広く、深く意欲的に学ぶ姿勢が大切だよ。

大学の勉強ってどんな感じ？高校までとどう違うの？学生の皆さんに勉強法のコツや心構えを聞きました。

先輩たちの勉強法、気になりますね！

授業では一番前の席に座るようになっています。大人数の講義だと発言しにくい雰囲気もありますが、分らないことは必ず質問する意気込みで臨んでいます。野球から学んだ「攻めた者勝ち」という精神の実践です。常に挑戦し、恥をかくのを恐れないことが大事だと思いますし、こうした姿勢を周囲にも広げられるようになりたいですね。

勉強法では、経済誌に載っていたノートの取り方を参考に、教科書に色分けした線を引いています。例えば「大事な部分には赤」「名詞にはオレンジ」というふうに、6〜7種類に色分けすると、文章の内容が視覚的に分かりやすくなります。線を引くことで自分の理解を促していると言えるかもしれません。

学類を超えて受講できる共通教育は、さまざまなことを吸収し、視野を広げるチャンスだと思います。私

「攻めた者勝ち」の精神で授業に臨んでいます。



人間社会学域経済学類3年  
福長 輝倅さん  
FUKUNAGA Teruyuki

は必要単位は修得しましたが、今後もさらに英語を履修するつもりです。中学の社会科学科教員になるのが夢で、生徒にグローバルな視点の大切さを教えられるよう、海外にも出て学びたいと考えています。



何色ものアンダーラインが引かれた教科書



Web版シラバスには学びのヒントが満載

高校までの勉強は教科書が中心ですが、大学では教科書や授業だけでなく完結することはほとんどありません。それらは基本的に過ぎず、レポート一つにしても図書館などで自分で調べ、考え、表現することを求められます。

履修科目を選ぶときには、シラバスを熟読し、授業のポイントを事前に頭に入れました。最初は専門分野の勉強の方が楽しいだらうと思っていたのですが、共通教育にも興味深い授業がたくさんありました。印象的だったのは、他大学の学生

や市民も受講できるいわくシテイカレッジの「発酵食品科学」。日本酒や漬物といった石川県の特産品について学ぶとともに、外国人に石川県の魅力を紹介しているボランティアなど、多様な目的で受講する人たちと知り合うこともできました。

金沢大学は「大学・社会生活論」のような授業で、大学での勉強法を分かりやすく教えてくれます。また、先輩からも有益なアドバイスをもらえます。金沢大学を志望する人は安心して入学してください。

※授業の目標内容が掲載されているもの。

自分で調べ、考え、表現することが不可欠です。



医療保健学域薬学類4年  
蒲澤 美都子さん  
KABASAWA Mitsuko

## 共通教育特設プログラム修了第1号！



人間社会学域地域創造学類2年  
藤原 利樹さん  
FUJIHARA Toshiaki

環境の視点からの地域活性化に興味があり、1年生の初学者ゼミでは出身地の特徴をまとめ、二人一組で地域の課題や解決策を考え、発表しました。大学の勉強には必ずしも教科書があるわけではないので、探求するに当たり焦ったこともありましたが、調べては調べ、知っていく過程に夢中になり、勉強のやり方そのものが発見でした。また、専門を見ずして特設プログラムの

「環境・ESDリテラシー」に登録しました。「里山体験実習」では能登半島へ足を伸ばし、地元の活気や住民の生き生きとした雰囲気に触れるなど、大学から地域、世界を見ろという総合的な学習ができました。

共通教育で学んだことを活かし、卒業までには自他ともに納得できるようなプレゼン能力を身につけ、将来はコンサルタントなどの職業に就きたいです。



# 卒業生インタビュー Graduate Interview

社会人アメリカンフットボールチームで活躍し、日本代表にも選出された加藤さん。充実の日々について伺った。

鹿島建設株式会社  
**加藤 公基** KATO Koki

深いつと変わった講義も思い出深いという。指導教員の趣味で週一回、漢文のレクチャーを受けていた。不思議だったが、今は「専門とは違う興味、関心を持つことが大切だと伝えたかったのかな」と思っている。

ちよつと変わった講義も思い出深いという。指導教員の趣味で週一回、漢文のレクチャーを受けていた。不思議だったが、今は「専門とは違う興味、関心を持つことが大切だと伝えたかったのかな」と思っている。

## 金沢が教えてくれたこと

アメフトに打ち込む一方、「勉強の方はぎりぎりだった」と苦笑いする。「ただ、基礎的な部分で仕事に生きているものがある」とも話す。工学部人間機械工学科に在籍し、機械そのものだけでなく、使う人にとってどうしたら便利かという視点を学んだ。

大学がアメフトの出発点  
加藤さんがアメフトを始めたのは金沢大学に入ってからのこと。中学・高校とバスケットボール部に所属し、「新しいことをやるのもいいか、くらいの気持ちだった」。意識の高い部員たちと練習を重ねるうちにのめり込んでいった。

広いフィールドを駆ける  
大学4年生のとき、本場アメリカでマイナーリーグのキャンプに参加し、プロの世界を垣間見た。現在は業務をこなしながら、社会人アメフトチームである鹿島ディアーズで日本一奪還をめざす。2011年には

キャンパス外でも多くの時間を過ごした。金沢の人は皆、優しかったことが懐かしいと話す。

## 共通点は皆で作ること

卒業後は鹿島建設に入社した。建設業を選んだ決め手は、首都高道路のトンネルを掘る現場を見学させてもらったことだ。スケールの大きさに圧倒され、「すごい、面白い」と感じた。



高層ビルの建設現場で（一番左が加藤さん）

4年に1度の世界選手権の代表メンバーとして、「国際大会で結果を出し、日本のアメフトを発展させたい」との思いで奮闘。大会ベストイレブンにも選ばれた。

## 加藤 公基さんプロフィール

愛知県出身。2006年工学部卒業。卒業論文のテーマは「非結晶性高分子（プラスチック等）材料の疲労破壊について」。4年生でナショナルフットボールリーグ（NFL）のトライアウトを受け、特別強化選手に指定された。

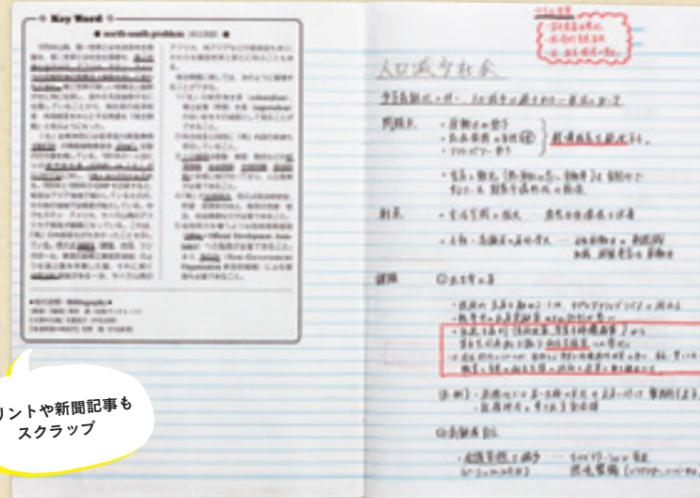


2008年NFL国際選手キャンプのメンバーと

# 金大生のノート ウオッチング!



金大生の「ノート事情」をチェック！  
ノートの取り方で工夫していることや、こだわりを聞きました。



プリントや新聞記事もスクラップ

## 気になることは何でもメモ

普段の生活で気になったこと、聞いたことなどを何でもメモし、後で調べることで理解を深めます。

こんなノートもあります

## 実験ノート

研究・実験過程を記入します。記録者が特定できるように①日付の記入、②サインの記入、③各ページの切り離し不可がルールとなっています。

こだわり!

## 余白の取り方

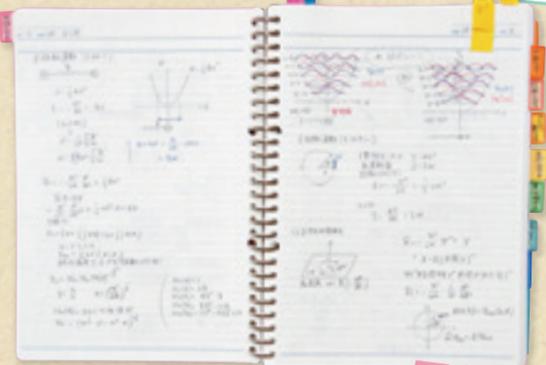
先生の追加コメントや自分で調べた内容を書き込むために、余白を空けながらノートを取る人や、最初から区切り線で余白を作っておく人も。復習にも役立ちます。



## 色分けで思考整理

項目別に下線の色を変えることで、一目見て分かるようになっています。5色以上使うことも。

複数のノートをインデックスで整理



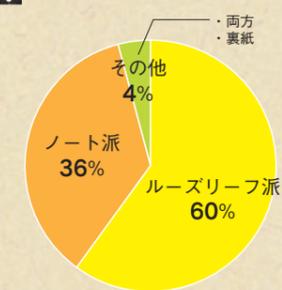
## ふせんをフル活用

前期・後期の授業ごとにファイリング。ふせんに疑問を書き込むと、質問を忘れません。

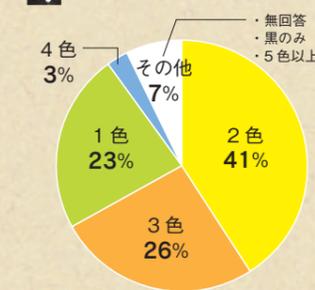
## 金大生 200 人に聞きました!

※校内ポータルサイトなどでのアンケート集計結果より

Q ノート派? ルーズリーフ派?



Q ペンは黒色以外に何色使う?



筆記用具は圧倒的に書き味重視。細い文字が書きやすいシャープペンシルや、軽い筆圧でなめらかに書けるボールペン、色をカスタマイズできる多色ペンなどが人気でした。

## TOPICS

### ノートテイカー制度

聴覚障害のある学生には教員の言葉を適時要約して提示し、視覚障害（弱視）のある学生には板書の文字を2文字ずつ、A4用紙1枚に大きく書いて見せます。どちらもリアルタイムで講義の援助を行っています。

※講義内容をまとめることはしていません。

## 研究と教育を介した 地域との連携が 新たな活力をもたらす



金沢大学学長補佐  
(社会貢献担当)  
**中村 浩二** 教授  
NAKAMURA Koji

私自身も、能登の里山・里海を生かし、自然にやさしい農林水産業を基盤とした自然共生型の地域再生をめざす「里山里海プロジェクト」を、各地で実施する研究者です。世界農業遺産「能登の里山里海」への支援事業は大学らしい貢献の好例と言えます。

いま、能登半島は過疎高齢化といった厳しい現実さらされていますが、それがかえって、地域の方々と金沢大学の結びつきを強め、新しい協働のかたち生まれつつあります。地域と大学が、それぞれのニーズとシーズを十分にすり合わせ、地域の問題解決に取り組むことが重要です。地域と連携するとき、大学の役割は「大学だからできること」を見きわめ、それを果敢に実行することだと思います。「大学だからできること」とは、研究と教育を介した連携です。能登をはじめとする地域の課題に、それぞれ真剣に取り組む中から、必要とされる研究、教育が見え、本学にも新たな活力をもたらすと考えています。

### 能登で展開している研究・教育プロジェクト

#### 「過疎地域における経済社会の再生と発展戦略—能登地域を事例として—」

過疎と震災に見舞われた奥能登地域において、地域社会と経済の再生・復興・発展の戦略を探る総合的な地域再生戦略

#### 「有鬚動物巨大ヘモグロビンの構造生物学」

能登・九十九湾に生息するマシコヒゲムシが持つ巨大ヘモグロビンの構造を解析

#### 「志賀町健康づくり推進事業」

モデル地区で健康に関するアンケート調査を実施し、住民の健康意識を高める

#### 「持続可能な地域発展をめざす『里山里海再生学』の構築」

里山と里海をつなぐ熊木川流域の研究や能登の地域再生に資する管理・運営技術の開発

その他の地域連携の取り組みはこちら

<http://www.crc.kanazawa-u.ac.jp/crc/work/>

### 金沢大学地域連携推進センター

〒920-1192 石川県金沢市角間町  
TEL (076) 264-5271, 5289  
<http://www.crc.kanazawa-u.ac.jp/crc/>



能登キャンパス構想推進協議会メンバー

### 能登を一つのキャンパスに

「能登キャンパス構想推進協議会」は、高等教育機関のない能登をキャンパスに見立て、教育と研究活動を展開することを目的に2011年3月に設置されました。県や奥能登の市町と連携し、

金沢大学はその中心的な役割を果たしています。2012年3月に行われた協議会では、地域の再生に関わる人々を招いた全国シンポジウムをはじめ、課題に取り組む学生ゼミナールの支援や調査研究、留学生交流事業の実施を決定しました。また、県内の2大学が加わり、新たに大学間連携事業が始まりました。

### オペレーティング・ユニットの役割

一方、協議会の運営を担当する「能登オペレーティング・ユニット」は自治体と大学のニーズとシーズを突き合わせる調整役も任されています。珠洲市を拠点に自然と共生した美しい能登半島の

再構築を担う人材を育成する「能登里山マイスター」の継承事業は、新たな人材養成プログラムとして実施体制を固めました。また、新たに七尾市との包括協定により中島市民センターの一部を借り受け、「脳老化・認知障害の早期診断・経時的評価のための総合システムの開発」(なかじまプロジェクト)と、「里山の環境変化と里海環境に及ぼす影響評価」(熊木川プロジェクト)の教育研究拠点を設置しました。



サイエンスカフェで研究成果に耳を傾ける市民(珠洲市)

トとして議論にも参加しました。また、併催した「サイエンス・カフェ」では、能登の上空で採取した納豆菌の話などに市民が耳を傾けました。金沢大学の教育・研究活動を縁の下で支え、大学と能登の人々をつなぐ窓口として、能登オペレーティング・ユニットの役割は今後さらに高まるに違いありません。

### 「場の学び」の大切さを実感

川口 大貴さん(地域創造学類4年)

地域課題ゼミナールで輪島市の間垣を調査しました。冬場の強い北風から家を守るため、集落を竹垣で囲うのが間垣です。調査を通じて、地域の連帯感や生活の知恵など多くのことを学びました。その場所でしたか理解できない「場の学び」があると感じました。



輪島の間垣を調査する学生

石川県能登地方は、2010年の国勢調査でも示されたように過疎化が顕著です。特に奥能登と呼

### ニーズとシーズが結合

録された農耕儀礼「奥能登のあえのこと」などの伝統文化です。2011年6月には「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定さ

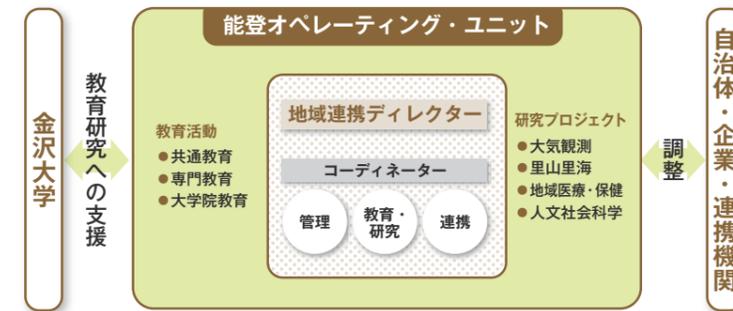


### 地域連携の支援機構

金沢大学は、長年にわたり能登半島でさまざまな研究・教育活動を積み重ねてきました。地域との連携を強め、さらに高度に展開させるため、2010年10月、現地支援機構となる「能登オペレーティング・ユニット」を設置しました。これは、能登における研究・教育に関わる大学とそのプロジェクトを支援する自治体、企業等との調整を行う役割を担っています。

ばれる2市2町(輪島市、珠洲市、穴水町、能登町)では、5年前に比べ人口が約10%も減少しました。07年3月には震度6強を記録した能登半島地震の被害も受けています。「能登を活性化したい。大学の知恵を貸してほしい」という地域の熱い思いが、「金沢大学タウンミーティング」などをおして多く寄せられています。

一方、能登には研究者を惹きつける研究の種(シーズ)が豊富です。日本海に突き出た地形と海、そこに育まれる豊かな生物多様性、ユネスコの無形文化遺産に登録された農耕儀礼「奥能登のあえのこと」などの伝統文化です。2011年6月には「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定さ



## 金沢大学の 地域連携レポート③

# 能登における 研究・教育を 地域と協働で サポート



能登キャンパス構想の連携研究者と金大研究者

れました。これらの国際的な評価を実証し、未来へ継承していくために、大学の知が必要とされています。つまり、能登は「地域のニーズ」と「研究のシーズ」が結合しやすいホットスポットであると言えます。

※特筆すべき伝統的農業や文化風習生物多様性の保全地域の持続可能な発展を目的に国連食糧農業機関が2009年に定めた認定制度。能登と佐渡が国内で初めて認定された。

### 研究者との協働を広げたい

北風 八紘さん

(珠洲市・NPO 能登半島おらっちゃんの里山里海理事長)

研究者の方々と交わる中で、水田に生物多様性をどうやって育むのか、環境配慮型の農業にはどのような工夫が有効なのか、など多くのことを学んでいます。今後も協働作業が広がることを期待します。

### 医療・防災へも連携の輪を

金田 直之さん

(珠洲市役所企画財政課長)

大学の教員や学生に奥能登へ足を運んでもらえるようになり本当に良かったと思います。一過性の取り組みで終わらず、医療や福祉、防災などの分野へも連携の輪が広がることを期待しています。



能登オペレーティング・ユニットに関わる人たちの声

2012年、金沢大学は源流である加賀藩彦三種痘所  
の設置から数えて150年目の節目を迎え、5月30日、  
「金沢大学創基150年記念式典」を挙行了しました。



校歌斉唱で開式



金沢大学創基150年記念式典・記念講演



あいさつする中村学長



金沢市内のホテルで執り行った式典には、平野博文文部科学大臣、濱田純一東京大学総長、イルシヤト・ガフロフカザン連邦大学長をはじめ、学内外から約570名が出席し、「知の継承・知の創造」の拠点としての役割にさらなる期待を寄せました。

中村信一学長は、種痘所を引き継ぐ旧制金沢医科大学のほか前身校となる第四高等学校、各師範学校、金沢工業専門学校以来の多大な支援・協力に感謝するとともに「将来、大学は『知の継承・知の創造』に満足を見いだす場になる。そのような時代においても、金沢大学が社会のための大学として光り輝くことを確信する」とあいさつしました。

記念講演では、森喜朗第85代・第86代内閣総理大臣が「金沢大学とこれからの高等教育」と題して、わが国の高等教育政策の展望を語るとともに、角間キャンパス総合移転に関

わったエピソードも披露しました。祝賀会では、板東久美子文部科学省高等教育局長からの祝辞に続き、各大学の長や自治体などの関係者と中村学長による鏡開きも行われました。

金沢大学は次の150年を見すえ、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」「東アジアの知の拠点」としてさらなる進化をめざします。



祝辞を述べる平野文部科学大臣



講演する森第85代・第86代内閣総理大臣



林前学長による乾杯

### キャンパスツアーも開催

式典に先立ち、海外の協定校からの出席者を対象にキャンパスツアーを開催。フレスコ復元壁画や医学部記念館等を案内し、キャンパスの魅力を紹介しました。



金沢大学は記念事業の一環として、2010年に「超未来型研究テーマ」を募集しました。創基150年のコンセプトである〈先魁 共存 創造〉にかなう、未来を展望する夢のあるものであればテーマは自由。応募資格は本学の教職員・学生で、研究内容・方法に自発性・独自性が見られるかなどを基準に選考しました。

研究成果は2011年と12年に研究成果報告会で発表。このうち研究テーマ「100年後の未来予想」は、22世紀の社会像を予想し今後の社会のあり方を含めた解決策を考えようというもので、選考基準に最も近い内容として評価されました。

報告会では学生・教職員らが熱意や柔軟な発想にあふれた発表に耳を傾け、未来を担う学生たちに期待を込めた質問が飛び交いました。

### 大学の未来を導く〈想像〉に期待

創基150年記念事業準備委員会委員長・附属図書館長 柴田 正良 教授

記念事業は次の150年も視野に入っていますが、大学の未来はその先までずっと続くでしょう。「発明は必要の母」と最近よく言われます。想像が創造を生み、それを必要とする存在を生む、ということでしょうか。大学の未来を導くのは遊び心いっぱいの〈想像〉だというのが、私からの期待を込めたメッセージです。

### Check!

#### 夏目漱石の名著を学生が映画化

2012年5月、学生サークル「映画研究会」が創基150年自主企画として制作した映画「こゝろ」の学外でのロードショーが実現しました。

#### 『金沢大学創基150年史』を刊行

金沢大学の150年の歴史をコンパクトに凝縮した書籍です。各時代を象徴する貴重な写真を中心に各項目を見開きで構成。読みやすさに配慮しています。



全134ページ  
(天地210×左右233ミリ)

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/kanazawa150/history.html>

## 6 キンストレーキ

19世紀のヨーロッパで普及した紙製の人形解剖模型で、日本へは幕末維新期に伝来しました。日本に現存する輸入キンストレーキ4体のうちの1体で、加賀藩彦三種痘所創設に関わった医師・黒川良安が1868年に、長崎で購入したものです。金沢医学館・旧金沢医科大学を経て金沢大学医学部に伝えられ、2010年にほぼ当時の姿に修復されました。(医学部記念館所蔵)



## 5 カドミウム標準電池

安定した起電力が得られるために、起電力測定や、電位差測定の際に標準電池(ウェストン電池ともいう)として使用されてきました。(資料館所蔵)



## 4 顕微偏光装置(偏光顕微鏡)

岩石片や鉱物片の結晶の様子を観察するための顕微鏡。本装置は1830年代に考案されたもので、岩石学、結晶学の研究のために用いられました。1950年、第四高等学校から金沢大学法文学部、理学部、教養部へと引き継がれました。(資料館所蔵)



## 3 マグデブルグ半球

大気圧の証明実験に使われる機器で、1878年、文部省から中学師範学校に交付されました。のちに第四高等学校から金沢大学教養部へと伝えられました。(資料館所蔵)



## 2 エンサイクロペディア・ブリタニカ

1887年の第四高等学校開校に当たり、金沢市民から寄贈された英語で書かれた百科事典。標題紙には「中屋彦十郎外二百三名寄贈」とあり(写真・左)、同校に対する市民の大きな期待が伝わってきます。(附属図書館所蔵)



## 1 暁鳥文庫

金沢大学の創設に当たり、真宗大谷派明達寺住職・暁鳥敬から蔵書5万冊の寄贈を受け、貴重な学術書を多数保有することになりました。本学ではその名を記念し、このコレクションを「暁鳥文庫」と命名しました。(附属図書館所蔵)

金沢大学の歴史を感じさせる書物や機器などを紹介します。

研究を支えたモノたち

# 金沢大学学友会

卒業学部・学域を超え、各地で交流が進む

学友会設立後、全国的な交流と連携を推進することで、卒業生同士の親睦の輪が広がっています。

## 広がる同窓会の輪

2012年6月2日、法経文学部同窓会、十全同窓会、薬学同窓会及び金沢工業会の東海・名古屋支部が中心となり、同地区では初となる「同窓会東海支部合同講演会・懇親会」が開催され、中村信一学長が記念講演を行いました。

また、年々参加者の輪が広がっている東京地区でも9月29日に合同講演会・懇親会を計画しています。さらに大阪地区では、法経文学部同窓会関西支部が10月6日に他学部の同窓会代表者を招いて懇親会を開催する予定です。

いずれも学長をはじめ、副学長、部長等が出席して記念講演や近況報告を行い、卒業生とざっくばらんに意見交換を進めていきます。



同窓会東海支部合同講演会・懇親会の様子

## 活動報告 2012.3～6

- 3/21 金沢大学学友会第1回理事会
  - 3/24 法経文学部同窓会理事会・理事懇談会
  - 5/12 金沢工業会理事会・評議員会
  - 5/12 東海地区4同窓会代表者会  
(法経文・医・薬・工)
  - 5/19 薬学同窓会理事会・第49回総会
  - 6/2 同窓会東海支部合同講演会・懇親会
- ### 基幹同窓会支部総会等
- 〔法経文学部同窓会〕 6/2 名古屋
  - 〔医学部十全同窓会〕 6/2 愛知 6/10 滋賀
  - 〔薬学同窓会〕 6/2 北海道 6/2 関東 6/2 東海
  - 〔金沢工業会〕 6/2 東海

## 「学友支援ニュース・レター」発信中!

電子メールで配信しています。ご希望の方はご連絡ください。

新たな同窓会結成などの情報がありましたら、ご一報願います。

## 金沢大学学友支援室

〒920-1192 石川県金沢市角間町  
TEL (076)264-5081 FAX (076)234-4015  
E-mail:gakuyu@adm.kanazawa-u.ac.jp  
http://www.adm.kanazawa-u.ac.jp/ad\_gakuyu/

## 頭と身体を使う面白さが魅力 オリエンテーリング部



「オリエンテーションとよく勘違いされますが、れっきとしたスポーツです」と部員たちは笑う。

地図とコンパスを片手に、山野に設置されたポイントを順番に通過し、ゴールまでの所要時間を競うのがオリエンテーリングだ。岩や倒木などの障害物のある自然の中を駆けまわる体力だけでなく、地図から地形を把握しルートを考え、現地の風景と照らし合わせながら進むナビゲーション能力が求められる。先輩に教わりながら、自分の能力や好み合ったルートの取り方、走り方を

## オリエンテーリング部の活躍はここで!

<http://kindaiolc.web.fc2.com/>

●2012年度日本学生オリエンテーリング選手権大会  
ロング競技部門  
日程：2012年12月2日(日) 場所：神奈川県

金沢大学では文化系、体育系のさまざまなサークルで、4,000名以上の学生が活動しています。  
<http://ghp.adm.kanazawa-u.ac.jp/archives/>

コンパスと地図が必需品



身につけていく。普段の練習ではランニングタイムを競い合い、地図を見ながらルートを検討し合うなど、部員同士で切磋琢磨する。また、一般からも参加できる競技大会を毎年主催しており、部員がそれぞれ役割を担う。大会の企画運営とおしと、計画性や責任感が身につく。部内外を問わず、多くの人と協力して作業する能力も養われるという。「もともとたくさんの人に興味を持ってほしい」と部長の金和也さん(経済学類3年)は語る。里山の自然に親しむオリエンテーリングを一度体験すれば、その魅力に引き込まれる人も多いそうだ。「まだ競技人口が少ないため、努力次第で全国をめざせる」と話すところ、2012年春のインカレでは、リレーで女子が初優勝、男子が5位入賞、個人でも6位入賞と輝かしい結果を残した。今後の活躍も大いに期待したい。

# Circle サークル紹介 introduction

学生を応援し、教育研究活動を支え、地域社会に貢献する

2011年度は、奨学金の充実や東日本大震災で被災した学生に対する生活支援等のサポートを行いました。留学生の受給者からの感謝の言葉を紹介します。

## 金沢大学基金

高巳奇 (Gao Siqu) さん

脳内のシグナル伝達についての研究に取り組んでいます。支援のおかげで、ソウルで開催された国際学会に参加し、さまざまな研究に触れることができました。これからも研究に専念して頑張りたいと思います。



李咏俊 (Lee Youngjun) さん

自然科学研究科博士前期課程修了(韓国出身) 奨学金のおかげで一層研究に力を注ぐことができ、繊維製品の開発機械のモデリングソフトに関する修士論文を書き上げることができました。今後、社会人としてもさまざまな分野の本を読み、国際的にも活躍できる人材になれるよう精進していきます。

## 創基150年記念留学生支援 キャンペーン寄付募集を開始

創基150年記念式典を開催した5月30日から3年間、本学の留学生(派遣・受入)支援のための寄付募集(目標額5億円)を開始しました。詳しくは基金ホームページをご覧ください。

## 寄付者芳名掲示板を設置

本部棟玄関ホールに寄付者芳名掲示板を設置しました。公表を承諾された個人、法人及び団体名を年度単位で掲示していきます。



## 寄付者別一覧 (2012年5月末日現在)

寄付者区分	延べ件数	金額(千円)
役員等	37	4,370
教職員	230	9,321
退職教員*1	45	23,940
退職職員(事務・技術)*2	168	3,393
在学生	28	257
卒業生	1,968	31,734
学生の保護者	267	3,627
一般	28	417
法人等	241	59,120
合計	3,012	136,179

\*1 名誉教授を含む  
\*2 健寿会(退職者の会)を含む

いつでも寄付申し込みができるようインターネットバンキングを構築中! 2012年秋にサービス開始予定。

## 「基金ニュース」発信中!

基金の受入状況やトピックス等を掲載した「基金ニュース」を毎月発行しています。電子メールで配信しています。ご希望の方はご連絡ください。

## 金沢大学基金室

〒920-1192 石川県金沢市角間町  
TEL (076)264-5075 FAX (076)234-4015  
E-mail:kikin@adm.kanazawa-u.ac.jp  
http://www.kikin.kanazawa-u.ac.jp/kikin/



エチュード「展覧会」を演じる団員(上)  
ざらりと並ぶ台本の数々(下)

創部は1951年。現在は男子7人、女子4人で活動している。少人数ながら、役者、照明、音響、大道具、小道具のすべてを自分たちでこなし、一つの作品を作り上げていく。観る人が共感できるよう、日常生活の出来事をテーマに選ぶことが多い。既存の台本を用いることもあるが、団員が自らシナリオを書き、独自の視点にこだわる公演も多い。

入部後、エチュード(即興劇)で個人の持ち味を引き出し、役者の方向性を皆で決める。練習でうまく演じられないときはお互いのアドバイスを頼りだ。「本番前は団員同士、不安を打ち明けることで緊張を和らげています」と話すのは代表の古町圭市さん(機械工学類2年)。

演劇はやり直しが利かない。台詞を忘れるなどのハプニングには、共演者がアドリブで補い合う。その結果、斬新でより魅力的な劇が生み出されることもある。言い換えれば、成功の鍵は、言葉のキャッチボールをいかに自然に見せるかにある。

市内の図書館で公演した際、観客から掛けられた「すごく良かった」という言葉が活動の励みになっている。観る側も演じる側も楽しむ気持ちを大切に、活動場所を地域へと広げていくことが今後の目標。このような日常を経て語られる彼らの自然な台詞は、観客の心に響くことだろう。

## 活動の場を地域に広げる らくだ☆カゲキ団(演劇部)

らくだ☆カゲキ団の活躍はここで!  
<http://rakudanokai.web.fc2.com/>



中村信一学長と教職員・学生ら約40人が雨上がりの里山を散策しました。

- 5/17 「学長と歩こう! 角間の里山」を実施
- 5/14-16 附属図書館でブックリユース市を開催
- 5/12 平成23年度学長研究奨励費研究結果発表会を開催

## May 5月

- 4/29-30 角間里山本部が「棚田再生プロジェクト」を実施
- 学生、地域住民、教職員が参加してキャンパス内の土地を開墾しました。6月2日には田植えを行いました。

P14・15に関連記事

- 2/25-26 入学試験前期日程を実施
- 合格発表は3月8日。後期日程の入学試験は3月12日、合格発表は3月22日でした。



- 2/20 「いしかわ金沢学」特別コースを開催  
留学生らが加賀友禅の絵付けを体験しました。
- 2/10 理工研究域サステナブルエネルギー研究センター(RSET)公開シンポジウムを開催
- 2/10 北陸銀行文庫に新たに50冊を受け入れ
- 2/3-3/31 附属特別支援学校「陶工房」の作品をデパートで展示販売

## February 2月

- 5/30 名譽教授称号記授与式を挙行
- 5/30 名譽客員教授称号記授与式を挙行
- 5/30 文部科学省の板東久美子高等教育局長が角間キャンパスを視察
- 5/30 創基150年記念式典・記念講演・祝賀会を開催

P16・17に関連記事



儀式風俗図繪「寺小屋」

- 5/24 附属図書館・資料館が所蔵する貴重資料をインターネットで公開
- 今後順次登録・公開する予定です。  
<http://muse-lib-collection.lib.kanazawa-u.ac.jp/>



- 3/6 「先端科学・イノベーション推進機構」の設立に向けてフォーラムを開催  
4月1日、同機構を設置しました。
- 3/3 サークル「金沢法友会」が第3回法教育教材コンクールを受賞

## March 3月

- 2/29 「北陸銀行若手研究者助成金研究成果報告会」を開催



## 卒業・入学

- 3/6-13 平成23年度附属学校卒業式・修了式  
附属幼稚園48名、附属小学校108名、附属中学校157名、附属高校123名、特別支援学校15名(小学部1名、中学部6名、高等部8名)が修了・卒業を迎えました。

- 3/22 平成23年度学位記・修了証書授与式  
卒業生1774名、修了生786名に学位記・修了証書が授与されました。
- 4/7 平成24年度入学宣誓式

P23・24に関連記事



- 3/21 初の白衣式を実施  
実務実習に臨む薬学類4年生に自覚を促すため行いました。
- 3/20 日本版リサーチ・アドミニストレーター(URA)導入に向けシンポジウムを開催

- 3/17 「能登里山マイスター」養成プログラム最後の修了式を挙行  
P14・15に関連記事
- 3/17 人間社会研究域フレスコ壁面研究センターが「写真展&国際講演会」を開催

- 3/11-14 富山大学と合同で大連(中国)へトレーニング派遣
- 3/10 学生リユース市を開催
- 3/7-8 人間社会研究域附属国際文化資源学研究所と北京語言大学語言研究所が日中共同シンポジウムを開催



- 4/28 「植物園の日」に合わせ薬用植物園を一般公開  
5月28・29日にはシャクヤク観察会を開催しました。

- 4/5 角間里山本部が新歓イベント「きまつしんかん」を開催  
新入学生約500人に、角間キャンパスの里山を活用した教育プログラムや活動を紹介しました。  
P14・15に関連記事

## April 4月

- 3/27 課外活動貢献者感謝状贈呈式を挙行
- 3/26 第3回能登キャンパス構想推進協議会を開催  
P14・15に関連記事
- 3/23 バイオAFM先端研究センター公開シンポジウムを開催
- 3/23 角間キャンパスにバリアフリーの新たな連絡通路が完成

# EVENT CALENDAR

お気軽にご参加ください

★マークはサークルのイベント。( )は開催場所です。  
 ＊マークは金沢大学サテライト・プラザで開催します。  
 特に明記がないものは金沢大学角間キャンパスで開催します。

## 7月

- 1 金沢大学留学生による茶器・書道・華道展
- 1-28 公開市民講座  
「金沢大学の研究現場に見る“再生”への道」

### 公開市民講座 「金沢大学の研究現場に見る“再生”への道」(全4回)

会場：金沢大学サテライト・プラザ  
 受講無料 各回先着120名  
 申込URL：[http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/form\\_sys/](http://kurt.kanazawa-u.ac.jp/form_sys/)

- 日程／
- 7/1 第1回  
「大気中で塗って製造できる有機薄膜太陽電池の開発」
  - 7/14 第2回  
「地域経済の再生に向けて」
  - 7/21 第3回  
「能登半島の環境維持と再生」
  - 7/28 第4回  
「里山里海と地域再生」



- 7 医学部創立150周年記念式典 (十全講堂)
- 9-9/28 資料館企画展  
「解剖図の美－医学解剖図と明治期の掛図－」
- 13 金沢大学薬学シンポジウム2012  
「創薬動態フォーラム in 金沢」
- 13 平成24年度日本学術会議中部地区会議学術講演会
- 28 夏休み企画①  
ミニ講演「小学生のためのマスメディア論」＊

## 8月

- 3 第8回金沢大学・JST新技術説明会 (東京・JSTホール)
- 7 理学の広場
- 9-10 オープンキャンパス
- 13-15 夏季一斉休業
- 17 小・中学生のためのものづくり教室
- 28 夏休み子ども教育体験「親と子の里山散策・学習会」

## 9月

- 26 9月期学位記・修了証書授与式
- 27-28 イノベーション・ジャパン2012 (東京国際フォーラム)
- 30 ひらめき☆ときめきサイエンス (保健学類)

## 10月

- 1 後期授業開始
- 27-28 開校記念祭 (附属高等学校)
- 27-11/24 薬草勉強会
- 30-31 文化祭 (附属中学校)

## 11月

- 1 未来開拓研究公開シンポジウム (金沢市アートホール)
- 2-4 金大祭
- 3 ふれてサイエンス&てくてくテクノロジー
- 3-4 医学展
- 上旬・中旬 資料館写真展「よみがえる城内キャンパス」  
(金沢城公園)
- 10 第6回ホームカミングデイ

### 第6回金沢大学 ホームカミングデイ

日時／  
11月10日(土) 10:00～

- ・ 歓迎式典
- ・ 記念講演・シンポジウム等
- ・ 留学生ホームカミングデイ
- ・ 記念懇親交流会 ほか



- 10 留学生懇談会
- 10-12/1 法科大学院生による無料法律相談＊
- 17 北陸4大学連携まちなかセミナー
- 17 講演会「がん治療、がん研究の最前線」(金沢歌劇座)
- 12月
- 2 マンドリンクラブ定期演奏会 (金沢市文化ホール) ★
- 22 吹奏楽団定期演奏会 (金沢歌劇座) ★
- 22 Modern Jazz Society 定期演奏会 (石川県立音楽堂) ★

## 2013

- 1月
- 19-20 大学入試センター試験
- 24-25 金沢国際がん生物学シンポジウム (金沢エクセルホテル東急)
- 2月
- 25-26 一般入試 前期日程

## 公開講座

- 7/14-16 ロマネスク期の絵画技法・モザイク画制作
- 8/10 調理の科学＊
- 8/10 心と体の健康－2012 ヒトの心を脳機能から見る
- 9/15-10/6 健康を創ろう
- 9/22-30 石川のキノコ学習会
- 10/3-11/7 地域を創造する＊
- 11/8-22 大学の地域連携、新しい動き＊
- 2/18-20 薬局見学・体験ツアー

地域の皆さまの生涯学習をお手伝いいたします。  
[http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/kaiho\\_c/kouza.htm](http://www.kanazawa-u.ac.jp/faculty/kaiho_c/kouza.htm)

# DATA NOTE

## 交流協定

- 2月 理工学域が中国・清華大学環境学院と部局間交流協定を締結
- ベトナム・ダナン大学と大学間交流協定を締結

## 3月

- 理工学域が台湾・国立政治大学社会科学部と部局間交流協定を締結
- ベトナム・ベトナム国立建設大学と大学間交流協定を締結
- 理工学域が中国・山東理工大学と部局間交流協定を締結
- 理工学域が中国・上海理工大学機械工学と部局間交流協定を締結

## 5月

- サウジアラビア・キングファイサル大学と大学間交流協定を締結
- 医薬保健研究域がベトナム・ベトナム海洋医学研究所と部局間協定を締結

## その他連携・協定

- 4月 東海6大学と病院間連携を基盤とした中部先端医療開発円環コンソーシアム連携協定を締結
- 5月 瑞宝中級章(教育研究功労)・五味保男名誉教授・深谷松男名誉教授
- 七尾市との包括協定を締結

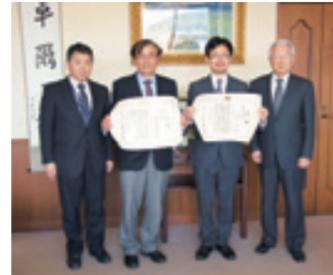
## 受賞



看板を掲げる武元市長(右)と中村学長(左)

## 4月

- 文部科学大臣表彰 科学技術賞(研究部門) 子どもたちの発達研究センター・東田陽博特任教授
- 業績名「自閉症の社会性障害の神経内分泌学の研究」若手科学者賞
- 医薬保健研究域附属脳・肝インターフェースメディスン研究センター・佐藤純教授
- 業績名「シヨウジョウバエ視覚中枢における神経回路形成の研究」



東田特任教授(中央左)と佐藤教授(中央右)

平成24年春の叙勲  
 瑞宝中級章(教育研究功労)  
 ・五味保男名誉教授  
 ・深谷松男名誉教授

## 研究・教育実績

- 瑞宝小級章(文部行政事務功労)
- ・水上修一 元事務局長
- 瑞宝単光章(保健衛生功労)
- ・吉田知孝 元臨床検査技師長(看護業務功労)
- ・川尻征子 元看護師長

## 3月

- 医薬保健研究域の東田陽博教授がロシア・クラスノヤルスク医科大学から名誉教授称号を授与
- 理工学域の木矢剛智特任助教らの研究グループが米国科学誌「PLOS ONE」に論文掲載
- ニホンミツバチの働きバチが特徴的な攻撃行動をとる際、一部の脳神経が興奮していることを確認しました。
- 理工学域の横山明彦教授らの研究グループが米国科学雑誌「Science」に論文掲載
- 放射性サマリウムの半減期の新たな測定に成功し、惑星の誕生が太陽系誕生の約2億年後と推定しました。

## 4月

- 附属病院の廣澤徹助教と子どものこころの発達研究センターの菊知充特任准教授を中心とする研究グループが英国科学雑誌「Scientific Reports」に論文掲載
- 信頼をつかさどるホルモン・オキシトシンが、いつ、だれに効くのかを脳磁計を用いて実証しました。

## 5月

- 名誉客員教授称号を授与
- ・浙江工業大学(中国)
- 沈寅初名誉学長

## 論文引用数

学術論文被引用数国内20位  
 大学の研究面の成果や実績を示す指標の一つとして学術論文の引用数があります。

- 【分野別】
- 薬学・毒性学(国内6位)
- 神経科学・行動科学(国内9位)
- 臨床医学(国内12位)
- 地球科学(国内13位)

国内研究機関ランキング(総合)(2002年～2012年)	世界順位	機関名	被引用数
1	16	東京大学	1,002,632
2	34	京都大学	699,895
3	44	大阪大学	579,672
4	59	独立行政法人科学技術振興機構	505,893
5	71	東北大学	457,067
6	109	独立行政法人理化学研究所	358,054
7	128	名古屋大学	325,593
8	138	九州大学	303,657
9	145	独立行政法人産業技術総合研究所	292,989
10	157	北海道大学	281,749
11	185	東京工業大学	249,647
12	246	筑波大学	195,215
13	315	広島大学	157,718
14	318	慶應義塾大学	156,235
15	348	千葉大学	139,508
16	359	岡山大学	133,515
17	379	神戸大学	122,816
18	382	独立行政法人物質・材料研究機構	121,821
19	411	東京医科歯科大学	110,768
20	443	金沢大学	99,875

## 科研費・採択件数

平成24年度科研費新規採択件数ランキング18位  
 日本の学術振興のために優れた研究を支援することを目的に設けられた科研費。  
 平成24年度は、金沢大学から新規採択されました。

順位	機関名	採択件数
1	東京大学	1,215
2	京都大学	981
3	大阪大学	943
4	東北大学	940
5	北海道大学	637
5	九州大学	637
7	名古屋大学	554
8	広島大学	377
9	筑波大学	370
10	慶應義塾大学	365
11	神戸大学	342
12	東京工業大学	311
13	岡山大学	294
14	千葉大学	293
15	早稲田大学	274
16	独立行政法人理化学研究所	273
17	新潟大学	265
18	金沢大学	244
19	熊本大学	215
20	長崎大学	213

注) 研究代表者の所属する大学等により整理(文部科学省研究費復興局学術研究助成課)

自然科学5号館横通路  
自然科学5号館と中福利施設を  
結ぶ通路です。



木漏れ日が涼しげ  
ですね。

夏の紫外線対策  
にも、いいかも。

滝

創立五十周年記念館「角間の里」から国際  
交流会館に向かう遊歩道にあります。



夏はやっぱり水場！  
マイナスイオンも浴びて  
勉強がはかどる?!



ぶらり  
キャンパス  
めぐり

金大生が  
ちょっと涼しげな場所を  
紹介します!

Acanthusとは

古代ギリシャ・ローマに由来する植物で、和名を葉薊(ハアザミ)とい  
う。金沢大学校章のモチーフとなっていることから、キャンパス内施設  
に名称が使われるなど、長年にわたり学生や教職員に親しまれている。

[表紙写真] 金沢大学総合教育講義棟横(角間キャンパス)  
人間社会講義棟や学生会館前広場につながっています。自然科学講義棟  
や里山の風景など、角間キャンパスを一望できます。モデルは創基150年  
入学生の皆さん。

2012年、  
金沢大学は  
創基150年。  
先魁 共存 創造



金沢大学の最新情報は  
金沢大学ホームページからご覧いただけます。  
<http://www.kanazawa-u.ac.jp/>



K-Dictionary  
金沢大学の魅力を  
230のキーワードから  
紹介します。

<http://www.kanazawa-u.ac.jp/k-dictionary/mobile/>



Mobile Site  
携帯サイトはこちら!

<http://daigakuic.jp/kanazawa-u/>